

アートであそぶ、アートでまなぶ情報誌「パレット」

Palette

特集

旅先のアートを楽しむ

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

にっぽんクチコミ美術館
アートサプリ&アートペディア
晴人(ばれっと)さん
記憶のスケッチ
美をみつける旅
藤田令伊のアートゼミナール

vol.1
winter

特集◆旅先のアートを楽しむ

旅先には、知る人ぞ知る美術館あり!

かん
安田侃彫刻美術館
アルテピアッツァ美唄



かつての教室を活かした展示スペース。どこか懐かしい



日本は世界有数の美術館大国。どこへ出かけても、旅先にはたいがい美術館があります。そのなかには、思わぬ出会いをもたらしてくれるところがあるかもしれません。素通りして、あなたはチャンスを逃していないでしょうか?

不思議な鑑賞体験

旅は私たちがもっとも好む余暇の一つです。旅の目的地で、あなたはどんな過ごし方をしているでしょうか。明媚な風光を楽しむ? ご当地グルメに舌鼓を打つ? それもいいですが、「美術館を楽しむ」ことを付け加えてみてはどうでしょう。

たとえば、北海道。札幌から旭川方面へ約六〇キロメートル、かつて炭鉱で栄えた美唄(びばい)市があります。まだどこか「開拓」の風情を感じさせるこの街に、元炭鉱町の小学校跡地を活用した「安田侃(かん)彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」があります。

アルテピアッツァは他に類例のない美術館です。総面積はなんと七万平方メートル! 北海道ならではのビッグスケールを誇り、広大なエリアの屋内外に美唄出身でイタリヤを拠点に活動している彫刻家・安田侃さんの彫刻作品が展示されています。「アルテピアッツァ」とはイタリヤ語で「芸術広場」の意味。イタリヤ在住の安田さんにちなんだネーミングですが、「広場」というより、もはや「公園」といった趣です。アルテピアッツァで作品を鑑賞する体験は、一般的な美術館のそれとはかなり異なります。オープンエア・エリアでは、一つ



「ここを彫る授業」というワークショップが開かれる



爽やかな夏も気持ちいい体験が得られる

の作品から次の作品まで、鑑賞者はしばしば歩くこととなります。いま見た作品を思い返しながら次の作品へと向かう……鑑賞を進めるにつれてその時間が次第に意味を持ち始めます。

安田さんの作品の多くは不定形です。そのため、見方によってどのようにも捉えることができ、人により時により、違った印象をもたらします。作品を見ているはずなのに、ふと気がついたら自分自身と対話していたり、いままで気づかなかったあのこときことに気づいたり。

作品が触媒となってじつに不思議な鑑賞体験が得られます。

「自分」が広がる美術館

旧栄小学校を再利用した屋内の展示スペースは、温もりある木造校舎と大理石の彫刻とが響き合っており、これまた一種独特の空気。木の棧が律儀にはまった窓や素朴な漆喰の壁など滋味深い味わいが見る者を包み、落ち着いた気持ちにしてくれます。じんわりと心が温まってきます。

ところで驚くことに、ここは入館料が要りません。より多くの人に自由にきてもらいたいという願いからです。

二〇〇三年には天皇皇后両陛下もお見え

になりました。近年では海外でも評判が高まっており、台湾から五〇〇〇人の団体が訪れたこともあるそうです。

新緑のみずみずしい美しさ、短い夏の爽やかさ、彩り豊かな秋、そして静寂に包まれる冬。四季折々の趣が楽しめるのもこの魅力です。

旅に出て、アルテピアッツァのような現地の美術館を訪ねて、思いがけない感動体験を得る——素敵なことだと思いませんか。知らなかった街を知り、知らなかったアートに触れ、少しずつ自分が広がっていく……こんどの旅では、ぜひ訪れた先の美術館を覗いてみてください。

「旅先のアート」を楽しむ 5つの秘訣

1 美術館があったら選り好みせず入ってみる

旅先に美術館があったら、選り好みせず、とにかく入ってみる手があります。百発百中というわけにはいきませんが、思わぬ出会いが得られることも。自分の枠を広げるきっかけにもなります。



2 ご当地のアートプロジェクトをチェック

最近各地でアートプロジェクトが開かれています。たいてい、その土地ゆかりの作家が参加していますので、アートプロジェクトをチェックすると、ご当地注目のアートを見ることができます。



3 歴史との合わせ技で楽しむ

アートとともに街おこしによく活用されるのが歴史。そもそも、伝統工芸や伝統芸能など歴史とアートは不可分といっても過言ではありません。土地の歴史を見ていくことで、結果として旅先のアートにも触れられます。

4 「〇〇記念館」へ行ってみる

その地方で注目したいものは、よく「記念館」になっています。記念館のテーマは、人物であったり、伝統芸術であったり、産業であったりしますが、いずれにしてもご当地ならではの事物が収蔵・展示されています。それらのなかにはアートというべきものもあり、見逃せません。



5 アートなおみやげを手に入れる

旅といえば、おみやげが楽しみですね。そのチョイスをひとひねりして、アートな品を選んではどうでしょうか。工芸品や彫刻、その土地の画家の絵など、旅の思い出とともに長くわが家を飾ってくれます。

落ち着いた雰囲気なかでくつろげるカフェアルテ。作品鑑賞の合間にひと息入れるのにピッタリ。夏は爽やかな緑が、冬は暖炉の火が心なごませてくれる。もちろん、カフェの利用だけでもOK



ガトーショコラ(300円)。チョコが濃厚で、コーヒートとの相性が抜群と人気



イタリアのサンドイッチ「パニーノ」(左)と「フォカッチャ」(各1100円、季節のピクルス・ドリンク付き)。石釜で焼いたパンが香ばしいと評判。具材もイタリアンのシェフがつくっている本格派



安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

- 北海道美唄市落合町栄町
- ☎ 0126-63-3137
- <http://www.artepiazza.jp>
- 営業時間 9:00～17:00
- 休館日 火曜日(祝日は開館、翌平日休館)、祝日の翌日(日曜日は除く)、12/31～1/3
- 入館料 無料(任意で寄付をお願いします)

<札幌からのアクセス>

- 車の場合
道央自動車道利用で札幌JCTより35分、新千歳空港より60分美唄IC下車、右折後、道道美唄炭山線を1.7km
- 電車の場合
JR函館本線 特急で34分、美唄駅下車
市民バス「アルテピアッツァ美唄」行き(東明通り経由32分、旭通り経由19分)
美唄駅東口よりタクシー10分



スタッフからの
メッセージ

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄は、冬も開館しています。北海道ならではの雪と彫刻とが美しい景色を生み出しています。ぜひ一日ゆっくりと滞在していただき、刻一刻と変わる、光の加減をお楽しみください。

「見いだす」アーティスト

kimiko さん



《たつ》
写真 / 町田益宏

美を発見する力
二〇一七年初、京都・銀閣寺近くのギャラリーで不思議な余韻を残す個展が開かれました。京都在住のアーティスト、kimikoさんによる『鉄木種コレクション展 ココニ在ル』です。案内状にも使われた作品《たつ》は、長さ数センチほどのサイズに似合わない圧倒的な存在感で、確かにそこにたっていました。
下から見上げるとD51のような重量感のあるフォルム。一方、真横から眺めると悠久の時を経た王の棺のような枯れた風格がにじみます。幾層か刻まれた編模様は、鉄を自在にあやつる円熟した彫刻家の作品を思わせました。しかしなんと、kimikoさんはこの作品を、とある横断歩道の車が行き交う道端で「拾った」とのこと。いや、拾ったのではなく「出会った」というのが正しいのでしょうか。



個展会場にて

《たつ》がもともと何だったかは謎ですが、kimikoさんに見いだされ名付けられたことで、人々の心に刻まれる存在となりました。

kimikoさんは個展と同時に写真&言葉集も発表しています。文庫本より少し小さな蛇腹折りにできる作品集と、「審美力」の源泉ともいえる言葉を編んだ冊子が、作家手づくりの装丁で誕生しました。《足の裏に挟んだ地球》と題された作品では、小さな小さな、直径数ミリ程度の石と何かしらの種が鎮座します。普通なら気づかずに行き過ぎてしまう存在が、どのようにkimikoさんに見いだされたのか？ 答えや



《月夜》
kimikoさんのコレクションの中から選ばれた2点がひとつの作品を形作った。立ち姿だけでなくおぼろな影も美しい。写真 / 町田益宏



kimiko

東京生まれ、京都在住。
鉄という素材が好きで、気づけば路上に落ちている鉄を見過ごせず拾い出す。気ままにアート鑑賞を楽しんできたことと、子どもの頃から「言葉探し」をしてきたことが作品として結実。表現することが止まらなくなり、現在、ブログにて雑記執筆中。
<http://ameblo.jp/daisuki-na-anatahe/>

方法が書いてあるわけではないけれど、アーティストの凛々しくも温もりのある言葉の粒に触れているうちに、自分の内にも美を見いだす力が宿ってくれるような、そんな静かな共感が満ちてきます。
写真集にはほかに『順位』《返事》《暗号》《再生》などのシンプルなたイトルの作品が並びます。あなたならどんなイメージを抱くでしょうか。そこにはいままで見たことのない美の世界が広がっているかもしれません。

高村光太郎は『美に生きる』（二玄社）で「美とは発見である。与えられるものでなくして、認めるものである」と記しています。詩人のこのメッセージが好きだというkimikoさん。「私は絵が描けないけれど、常に美しいものを求めています。しかし、それはあくまでも自分なりの『美』。誰にも見向きもされないものでも私には美しい。インスタ映えはしないか



写真 & 言葉集は屏風のように飾れる。バッグに収まるサイズが可愛い

●●個展のお知らせ●●

2019/2/2 ~ 2/4 まで、吉祥寺の書店「青と夜ノ空」にて、kimikoさんの個展が開かれます。期間中は作家が在店します。ぜひお出かけください。詳細はkimikoさんのブログをごらんください。



もしれないけれど」と語ってくれました。
作品集『鉄木種コレクション ココニ在ル』は、東京では吉祥寺の書店「青と夜ノ空」、京都の書店「ホホホ座」、レティシア書房にて販売中です。すべての店舗で通信販売も扱っています。

藤原宮跡から香具山を望む

(奈良県橿原市)



彼らの世界を体験できる場所
古代人たちの視界
これはいにしえの風景

空はこんなに広がったのか
コンクリートが見えない

電柱がない
電線がない

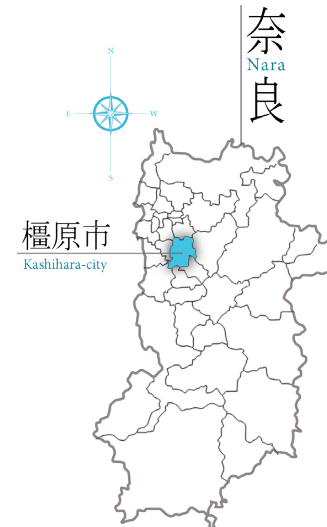
藤原宮跡に立つ
香具山の方角を見る

「な~にもないけど、なにかある…」

日本最初の都って？

日本の都。東京の前は平安京、平安京の前は平城京。では平城京の前は？

日本最初の都は、694年、現在の奈良県橿原市（かしはらし）に造られた藤原京です。当時は新たに都が出来たので「新益京（あらましのみやこ）」と呼ばれていました。藤原京は約5キロメートル四方もあり、都城としては最初にして最大の規模がありました。「日本」という国号も藤原京を発した遣唐使が初めて使用したのです。



いにしえの恋争いが眠る地

いま、その宮跡に立つと広大な緑の野を囲むような可愛らしい大和三山（香具山、畝傍山、耳成山）を間近に望むことができます。「香具山は 畝傍をおしと 耳成と 相争ひき神代より……」の歌は、天智天皇が美貌の歌人・額田姫王（ぬかたのおおきみ）をめぐる弟の天武天皇と恋争いをしたときのことをモチーフにしたと言われています。

藤原京の大部分は地中へと埋もれていき、1324年前の都の跡は、いま、1メートルの地下に眠っています。



ほかではなかなか見られない菜の花と桜の見事な競演も楽しめる



かつての宮跡の柱が再現され、壮大な建物のスケールが想像される

<藤原京へのアクセス>

- 車の場合……国道165号「醍醐西」を南へ折れ、約650メートル、「縄手町」を東へ折れ、約400メートル
 - 公共交通機関の場合……近鉄大和八木駅からコミュニティバス約20分、「橿原市藤原京資料室前」下車、徒歩3分
- (問) (一社) 橿原市観光協会 0744-20-1123

インフォメーション

平成31年2月16日(土) 飛鳥・橿原シンポジウム「神武-ZINMU-はるかなる旅路」開催。 場所：霞が関イイノホール

詳細は [橿原市観光協会](#) [シンポジウム](#) で検索

橿原市観光政策課 国際交流員

ジョイス・チャン より

「春は菜の花が、夏は蓮の花が、秋はコスモスの花が、藤原宮跡を彩ります。橿原市でゆったりとした時間と四季折々の花景色に触れてみませんか」

Art-Supplement

アートサプリ

TARO のカップ & ソーサーで ポップなティータイムを♪



川崎市の生田緑地にある川崎岡本太郎美術館のカフェ「カフェテリアTARO」は岡本太郎の作品を彷彿とさせるカラフルな色彩が印象的。白地にポップなロゴが映えるカップでいただくTAROブレンド(350円)はすっきりとした味わいです。ビールやワインも楽しめるうえ、展覧会に合わせたメニューも用意されています。“太郎さんがここにいたらどういふかなあ”と思わず想像して頬が緩みます。作品だけでなく、数々の深い言葉ものこした太郎に励まされるカフェスペースです。



☎ 044-900-6155



カップ & ソーサーは購入も可能

Tour

いつかは訪ねたいユニーク美術館 花とアートの伊豆の旅!

パレット編集長・こしのきよみが同行する早春の伊豆をめぐる美術館ツアー。このシーズン限定展示の国宝《紅白梅図屏風》を鑑賞できるMOA美術館はもちろん、野坂オートマタ美術館や伊豆の長八美術館など、一般ツアーでは実現しにくい個性派美術館も訪ねます。修善寺梅林や河津桜で一早い春を満喫しましょう!

日程：2019年2月26日(火)～27日(水)

※ この記事でのお申し込みは承っておりません。詳しくは毎日新聞旅行ホームページ(まいたび)をご覧ください。資料をご請求いただいたうえでお申込みください。

旅行企画・実施/株式会社毎日企画サービス(毎日新聞旅行)

☎ 03-6265-6966 HP: <https://www.maitabi.jp/>



伊豆の長八美術館

Family

「ファーストミュージアム」って何? こどもとはじめて訪ねるならココ!

◎ 定期購読のご案内

パレットの定期購読は4コース。ご自分用はもちろん、ご友人やお客様へのプレゼントなどにもお役立ていただけたら幸いです。たくさんのお手元に届きますように。

● そらいろコース・・・1,000円/年
季刊(各1冊)×4回 送料込

● わかくさコース・・・2,000円/年
季刊(各3冊)×4回 送料込

● ばらいろコース・・・3,000円/年
季刊(各5冊)×4回 送料込

● るりいろコース・・・5,000円/年
季刊(各10冊)×4回 送料込

①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④コース名
をご記入のうえ、下記編集部までお申し込み
ください。折り返しご連絡いたします。

※ご記入いただいた個人情報は当社にて厳重に管理し、第三者には提供いたしません。

世界初の絵本美術館として知られる「ちひろ美術館・東京」。ここは、こどもたちが生まれてはじめて訪れる「ファーストミュージアム」として親しめるさまざまな工夫をしています。こどもの目線にこだわった高さの展示や、3000冊の世界各国の絵本、木や布のおもちゃで遊べる「こどもの部屋」など、ご家族で楽しめる貴重な美術館となっています。こどもへの愛情があふれるいわさきちひろの魅力を、次の世代とわかちあいませんか。お孫さんとも一緒に!

ちひろ美術館・東京
☎ 03-3995-0612



◎ 編集部より

無事に創刊号を発行できました。アートであそんで、まなぶ楽しさを多くの方々とかち合えるよう、小さいけれど、心地よい刺激が味わえる冊子を目指します。みなさまのご意見やご感想、ご質問、耳より情報、そしてご支援をお待ちしております!

あ Art-Pedia

アール・ヌーヴォー/デコ

アール・ヌーヴォーとアール・デコ。何が違うの? という質問をよく受けます。アール・ヌーヴォーのアールは「アート」、ヌーヴォーは「新しい」(ボジョレー・ヌーヴォーなどと同じ)なので、「新しい芸術」という意味になります。アール・ヌーヴォーは19世紀末ヨーロッパに起こった美術運動で、曲線をふんだんに使って、植物の有機的な形や金属などの新素材を積極的にデザインに採り入れた新しい装飾表現です。ミューシャやガレがよく知られています。

一方、アール・デコのデコは「装飾」という意味で(デコレーションケーキなどと同じ)、アール・ヌーヴォーが飽きられたあとの20世紀初頭に誕生しました。こちらは曲線に対して直線が命。工業化や大量生産が一気に進んだ時代背景も相まって、シャープで勢いのある表現や、幾何学模様や鮮やかな色合いが好まれました。ラリックが有名で、エンパイア・ステート・ビルもアール・デコの代表的な建築です。アール・ヌーヴォーもアール・デコも装飾に関する言葉ですが、その表現は対照的でした。あなたはどちらがお好みですか?

【パレット編集部】 FAX: 042-372-0126 メールアドレス: info@plusrelax-art.com

フィリア美術館 (山梨)

八ヶ岳の麓、豊かな自然に包まれた地にフィリア美術館があります。館内に一步足を踏み入ると、まるで教会にいるかのような敬虔な気持ちに満たされます。この美術館が愛と平和をテーマにしているからでしょう。

第二次世界大戦で子と孫を失ったケーテ・コルヴィッツのコレクションが知られます。深い愛情と苦しみのなかから生み出されたその作品は、見る者に静かな衝撃をもたらします。心静かにアートと向き合える美術館です。



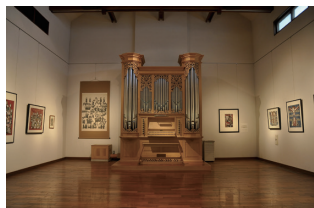
美しい緑に囲まれ、落ち着いたたたずまいを見せるフィリア美術館。小さなミュージアムだが、時間をかけて滞在すると心が洗われるような体験が得られる

●●基本情報●●

山梨県北杜市小淵沢町上笹尾 3476-76
T/F0551-36-4221
◎入館料 大人 500 円、小中生 300 円 ◎開館時間 9:30 ~ 17:00 (10月 ~ 4月 は 10:00 ~ 16:00) ◎休館日 火・水・木曜日、展示替え期間 *臨時休館あり お問い合わせください



静かな館内には本格的なパイプオルガンもあり、イベント開催時などに演奏される



藤田令伊の
アートゼミナール

<第1回>

「私が見る」

このコーナーでは、毎回ひとつのキーワードをもとに、美術鑑賞のスキルがアップする方法についてお話ししていきます。第1回のキーワードは「私が見る」です。みなさんは「私が見る」ということを意識して美術鑑賞をしているでしょうか？

たとえば、大人気の伊藤若冲。話題の展覧会に乗り遅れてはならじと足を運んで大満足！——もちろん、それはそれでけっこうなことですが、もう一步踏み込んで考えると、自分の鑑賞というよりテレビや雑誌の情報を確認するだけに終わってはいないでしょうか。



伊藤若冲《群鶏図》 宮内庁三の丸尚蔵館

私たちが美術鑑賞を楽しむのは、私たちが自身の楽しみを見つけない、気づきを得たり、何かを学んだりするためのはず。ところが、肝心の「私」が置き去りになっていることが実は少なくないのです。「私が見る」ことは、いわば美術鑑賞の大前提。「私」が欠けていては、意味のある鑑賞にはなりません。

間違っているもんじ

私たちが美術を楽しむのは、学会で論文を発表するためとかではないですよ。だったら、別に「間違ってる」いてもいいじゃないですか。たとえば、左の若冲の《群鶏図》も、「鶏たちのお祭りだ！」と思って見ても構わないのです。「正しい」とか「間違っている」といった意識を取り除けば、鑑賞はグッと自由に広がります。「こんな見方をしてはいけないのでは……」などと心配することなく、ぜひ「私」ならではの見方を進めていってください。それがあなたにとって意味ある美術鑑賞への大切な第一歩です。



ケーテ・コルヴィッツ《ピエタ》。ほかに、ミエチスラフ・コシチュルニアクのコレクションなど、平和を希求した作家の作品が当館の特徴をかたちづくる

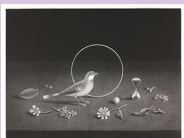
大人のためのテーマのある旅情報誌

風来人

「風来人」とは専門講師が同行して解説する、テーマ性を高めた旅です。「いつかは訪ねたいユニーク美術館」「仏像をめぐる旅」「紅茶さんぽ」「いつまでも残しておきたい日本の森」「街道歩き」など、ジャンルは多種多様です。知識を深めながら旅する「大人のためのテーマのある旅」をご提案します。



いつかは訪ねたいユニーク美術館



長谷川潔《時 静物画》1969年

3/15 発 東京のんびりアート旅～岡本太郎・向井潤吉・長谷川潔
★町田市立国際版画美術館、川崎市岡本太郎美術館、世田谷美術館分館 向井潤吉アトリウムを訪ねます。



能満寺

百仏巡礼

2/21 発 栃木の仏像と益子焼
★益子町・西明寺（県指定文化財の千手観音、国重文・三重塔）、益子陶芸美術館、宇都宮市・能満寺（羽下薬師堂にあった鎌倉期の薬師如来立像）、宇都宮市・大関観音堂（平安前期の像高250cmの菩薩立像）を訪ねます。

世界紅茶物語

2/16 発 日本各地の和紅茶編
★全国各地の紅茶を試飲しながら和紅茶の世界を学び、講義後はお茶をコンセプトにしたレストランでランチを楽しみます。



戦国廃城を歩く

2/17 発 常陸太田市の城を訪ねる①
★戦国時代の佐竹氏の拠点である茨城県常陸太田市を訪ね、百年続いた佐竹氏と分家の山入氏の内紛の舞台を訪ねます。



※この広告でのお申し込みは承っておりません。詳しくは当社ホームページ（まいたび）をご覧ください。資料をご請求いただいたうえで申し込みください。

お申し込み
お問い合わせ

まいたび

毎日新聞旅行

国内旅行
受付

03-6265-6966

旅行企画・実施 / (株)毎日企画サービス(毎日新聞旅行)

ホームページ <https://www.maitabi.jp> 受付時間 / 電話 国内:平日9:30~17:30・土曜9:30~12:00(日曜・祝日・年末年始=12月29日~1月3日は休業、ただし電話受付に限り営業することがあります。詳細はホームページ等でご案内いたします)

竹橋旅行カウンター 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1丁目1番1号 / レスサイドビル地下1階 (レスサイドビル店) 平日10:00~18:00(土曜・日曜・祝日・年末年始は休業)

〒102-0074 東京都千代田区九段南1丁目6番17号 千代田会館内 (観光庁長官登録旅行業第1280号)

記憶のスケッチ

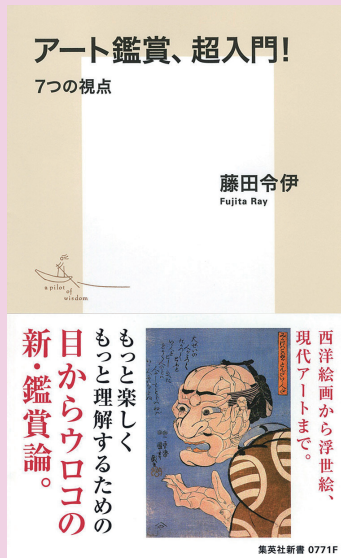
今日の思い出を、こころのアルバムに。

1	「 」
鑑賞日	場所
お気に入り	
感想	
☆☆☆☆☆	

2	「 」
鑑賞日	場所
お気に入り	
感想	
☆☆☆☆☆	

3	「 」
鑑賞日	場所
お気に入り	
感想	
☆☆☆☆☆	

プラスリラックスの本



NHK
「助けて！きわめびと」で
大注目！

「ざっくり」のあと「じっくり」見る
「エア買いつけてみる」「もし〇〇だったら？」と想像してみる」など、ユニークで役に立つ話題のアート鑑賞術を基本からやさしく解説。人間としての成長にもつながる画期的鑑賞論。

集英社 800円（税別）



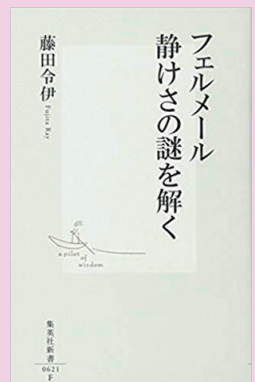
全国の美術館から60館を厳選、実感をベースにした一般論に終わらないユニークな美術館ガイドを展開。

ベストセラーズ 1000円（税別）



「わからない」と敬遠されがちな現代アート。初心者でも気軽に楽しめるコツを平易に解説。

集英社 740円（税別）



フェルメールの絵の静けさはどこからくるのか？ 画家の世界の核心に迫った異色のフェルメール論。

集英社 780円（税別）

